

2022年度
大阪経済大学 大学院

人間科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程

研究指導担当者一覧

【出願にあたっての注意事項】

- ◎研究指導担当教員は、入学後に決定します。
出願の際は必ず、本学入試情報サイト(<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>)で最新の情報を確認してください。
- ※担当教員は、変更になることがあります。

【お知らせ】

- ◎教員との個別面談を希望する場合は、上記本学入試情報サイトよりお申し込みください。
- ◎2021年度のシラバス、授業科目、時間割は、本学WEBサイト大学院紹介ページ(<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/graduate/>)から閲覧できます。

担当教員	鵜飼 奈津子
テーマ	子どもの精神分析的心理療法をめぐって
担当科目	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、地域発達相談実習Ⅰ（心理実践実習）、地域発達相談実習Ⅱ（心理実践実習）
受講についての必要な予備知識	発達心理学および心理療法の基本的な知識(学部卒業程度)を持っていることが望ましい
評価の方法	修士論文作成過程におけるまとめやレポートの進捗状況により評価
研究指導について	<p>精神分析理論や子どものころについて関心を持ち、大学院での研究および臨床トレーニングを求める学生は年々増加しています。しかし、一口に精神分析理論や子どものころといっても、私たち専門家の領域はより深く分化していますし、それぞれの学生の興味・関心も幅広いものがあります。</p> <p>そこで、研究指導1年次春学期には、精神分析理論の中でも特に英国対象関係論の理論に親しむため、さまざまな文献の講読を行います。自閉症などの発達障害や被虐待児のころの理解に関しても、英国対象関係論の視点を中心に、愛着理論・研究、認知・発達心理学や脳神経科学など、近年精神分析が知見の交流を持つ他分野領域からの視点も豊富に取り入れた、幅広い理解を目指します。それを通して、それぞれの興味・関心が、どのように理論と実践に結びついた研究成果としての修士論文にまとめていくことができるのか、各自の研究テーマの選定を目指します。1年次秋学期以降は、各自の選定した研究テーマに基づいて、具体的な研究計画を立て、それぞれの計画日程に添う形で研究をスタートさせます。その進捗状況をチェックしながら、必要に応じて計画の変更・調整を行いつつ、最終的に、2年次終了時の修士論文の完成を目指します。</p>
志願者へのメッセージ	大学院修了後、自分はどうのような臨床心理士／公認心理師になりたいのかを見据えながら、共に研鑽を積んでいきましょう。

担当教員	坂野 剛崇
テーマ	犯罪や非行、社会的弱者に対する心理支援・対人援助職支援（SV）・質的研究法
担当科目	臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理実習Ⅱ、司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
受講についての必要な予備知識	臨床心理学に基づくシステミックなものの方・捉え方、問題発見能力と論理的思考力
評価の方法	実践・研究・修士論文への取り組みを総合的に評価。
研究指導について	<p>研究テーマについては、一人ひとりの問題意識を可能な限り尊重します。主体的計画的に取り組んでくれることを希望します。</p> <p>一人ひとりが、日常生活や仕事・実習等における実践の中で抱いた問題意識を大事にし、それについて取り組んでいる本人としての“解”を見出すという研究の基本に沿って、テーマ設定、データの収集方法、分析方法等について一緒に検討していきたいと思っています。そして、その成果が、その後の実践をより豊かなものにしていく意義のある研究となるようにしていければと思っています。</p> <p>1年春学期には、問題意識から先行研究の精読を踏まえて、テーマ設定とリサーチクエストの策定まで絞り込み、1年秋学期には、さらに先行研究の学修等を踏まえて「問題」の整理と研究方法等を定めていきます。</p> <p>2年春学期には、データの収集・分析を行って結果を整理し、2年秋学期には、考察へと進めるようにしたいと思っています。</p>
志願者へのメッセージ	実践はいろんなことを考えさせてくれます。また、学修と研究は、それらを深め、整理してくれます。実践と学修・研究を往還させながら、専門的力量を磨いていきましょう。

担当教員	中川 一郎
テーマ	人と地球を考え、行動する心理学
担当科目	臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰa（心理実践実習）
受講についての必要な予備知識	基礎心理学と臨床心理学に関する知識に加えて、フィールドワーク、ボランティア活動、臨床経験などを通して、人々の生活と苦悩に関する理解や共感性。「調べる・学ぶ・思考する・表現する・議論する」などの基礎能力。
評価の方法	実践・研究・修士論文への取り組みを総合的に評価。
研究指導について	臨床心理学とは、心の健康と病気に関する理解を深め、人々の苦悩を和らげる為の心理的援助に関する学問です。現代社会は、心の病気を予防し、より健康な生活のための心のケアを必要としています。このゼミでは、科学者・実践家モデル（Science-practitioner model）とホリスティック（全体的・統合的）理論を基礎に、それぞれの院生の興味を中心に研究を進め、臨床心理学者としての知識や能力を高めることを目的とします。 また、心のケアの専門家は人間的な成長や社会性も求められるので、理論や知識の習得に偏らず、積極的なディスカッション、体験学習、フィールドワークなども大切にします。 各自の研究テーマと修士論文の作成に関しては、自律的・積極的な姿勢を求めます。
志願者へのメッセージ	2年間はとても短いですが、全力で学び、実践と研究をとおして、人・社会・地球にほんとうに役立つ心のケアの専門家に成長してください。

【2021年秋・2022年春不開講】

担当教員	古賀 恵里子
担当科目	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅱ